

# 「水防災意識社会 再構築ビジョンに基づく 小瀬川流域の減災に係る主な取組状況

令和5年6月

小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

大竹市、岩国市、和木町、広島県、山口県

広島地方气象台、下関地方气象台、

国土地理院、中国地方整備局

# 小瀬川水系減災対策協議会の経緯

- 平成27年9月関東・東北豪雨災害を契機に水防災意識社会再構築ビジョンが策定され「小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」を平成28年5月25日に設立した。
- 協議会では各機関の5か年の取組方針を作成し、毎年進捗をフォローアップしてきた。その間、緊急行動計画(平成29年6月)や緊急行動計画の改定(平成31年1月)等を踏まえ取組の見直しを行い、令和2年度には当初の目標期間(概ね5年)が経過した。
- 多くの取組項目が完了しているが、一部未完了の項目や今後も継続して実施すべき取組等が存在した。これまでの取組状況や水防災に係る近年の動向等を踏まえて、**概ね5年(令和3~7年度)に実施する取組を新たに設定した。(令和4年6月改訂)**

## 平成27年9月 関東・東北豪雨災害(鬼怒川の洪水氾濫)

### 平成27年12月 社会資本整備審議会答申

施設能力には限界があり、施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するものへと意識を変革し、社会全体で洪水氾濫に備える必要がある。

### 平成27年12月 水防災意識社会再構築ビジョン

平成28年5月25日 第1回 減災対策協議会「**小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会**」設立

#### 目標

小瀬川水系河川整備計画に位置づけられる事業の早期完成に向け事業推進を図りつつ、大規模水害に対し、氾濫特性を踏まえたハード・ソフト対策を推進し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。

#### 取組方針

1. 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組
2. 氾濫特性に応じた効果的な水防活動
3. 浸水を一日も早く解消するための排水対策
4. 洪水調節施設の効果的・効率的な運用

## 減災対策協議会の経緯

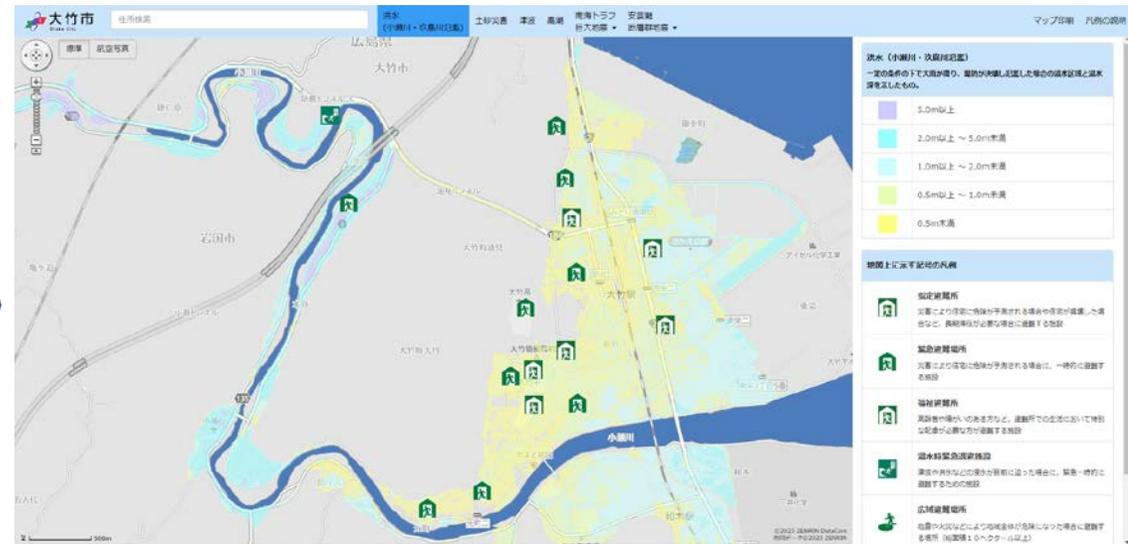
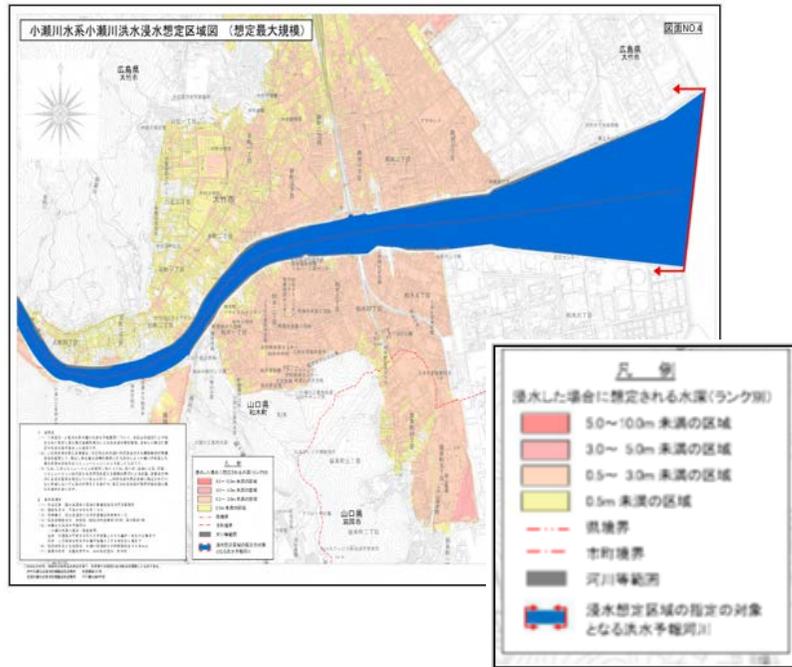
年度	回	会議開催日	議事概要
平成28年	1	平成28年5月25日	小瀬川水系大規模減災対策協議会設立
	2	平成28年9月29日	規約改定、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく小瀬川流域の減災に係る取組方針 策定
平成29年	1	平成29年6月16日	前年度のフォローアップ、各取組項目におけるスケジュール共有等
	2	平成30年3月30日	規約改定、減災対策協議会を法定化、前年度のフォローアップ等
平成30年	1	平成30年6月13日	緊急行動計画への対応等、小瀬川流域の減災に係る取組方針改訂(1回目)、前年度のフォローアップ
	2	平成30年12月27日	平成30年7月豪雨災害の振り返り、小瀬川流域の減災に係る取組方針改訂(2回目)
令和元年	1	令和元年6月14日	規約改定、前年度のフォローアップ等
令和2年	1	令和2年6月11日	規約改定、ダム部会設立(治水協定締結)、流域治水プロジェクト等
令和3年	1	令和3年6月10日	規約改定、取組方針5年間の総括、次の5年間(令和3年度~令和7年度)方針見直し、前年度のフォローアップ等
令和4年	1	令和4年6月10日	小瀬川流域の減災に係る取組方針改訂(3回目)、前年度のフォローアップ等

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくHMの作成・周知等

○ 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難計画の見直し

想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図を基にしたWEBハザードマップを更新し、市HPで公開済み、各種講習会や図上訓練で周知済み



小瀬川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

大竹市 WEB版ハザードマップ

## ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくHMの作成・周知等

## ○ 各市町が管理する避難所の収容人数等を共有し、隣接市町村との連絡体制を構築

- ・小瀬川左岸に所在する大竹市から、右岸に所在する岩国市・和木町に避難する場合は、小瀬川を越えて移動する必要がある。
- ・安全なルート確保は避難行動の基本であり、洪水に対する避難行動において、小瀬川の横断は避けるべきである。
- ・廿日市市と接する一部の地区では、大竹市が所管する避難場所を共有し、両市の住民が必要に応じて利用しており、避難場所の開設のほか、備蓄品の保管等についても、廿日市市の担当部署と事前協議のうえ連携している。

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成

### ○ マイタイムライン等の作成促進

SNSによる広報、出前講座による紹介及び作成補助を実施。

#### 大竹市 (広島マイタイムライン作成講習・実施実績)

令和4年5月7日(土) 避難の呼びかけ体制・ステップアップ訓練

令和4年6月5日(日) 防災セミナー

令和4年11月14日(月) 地域防災リーダー新規育成研修会

令和4年11月26日(土) 避難の呼びかけ体制・集合訓練

#### (HPによる広報)

令和4年7月8日(金) 広島県と連携し、大竹市HP上で広島マイタイムライン・防災タイムラインの紹介ページを公開開始



大竹市  
Osaka City

ホーム | 暮らし・手続き | 子育て・教育・学び | 健康・予防・医療・福祉 | 事業者向け | 市政

イベントを探す | 募集を探す | 施設を探す | 組織から探す | キーワード検索 | Google 検索

現在の位置: 大竹市 > 組織から探す > 総務部 > 危機管理課 > 重要案内 > 防災 | ひろしまマイタイムライン・防災タイムライン

### ひろしま マイタイムライン・防災タイムライン

広島県が推進する2つのツールの紹介ページです。

#### ひろしま マイ・タイムライン

【ひろしま マイ・タイムライン】とは  
令和2年度に広島県が作成し、普及に取り組んでいる防災ツールです。  
大竹市では、令和3年度から、自主防災組織や防災リーダーの研修会などで作成講習を取り入れていま  
す。  
ひろしまマイ・タイムラインには、冊子版とデジタル版があり、パソコンやスマートフォンで作成できるデジタル版マイ・タイムラインは、特設サイトから作成することができます。また、特設サイトから冊子版のデータをダウンロードすることもできますので、ぜひご利用ください。  
なお、スマートフォンをお持ちの方は、より簡単な【防災タイムライン】をお試しください。

#### ひろしま マイ・タイムライン

みんなで減災！  
「災害死ゼロ」を目指して  
減災のキーパーソンはあなたです。

いざというときに役に立つマイ・タイムライン  
(自らの防災行動計画) を作って風水害に備えよう！

● (広島県リンク) ひろしまマイ・タイムライン

#### 防災タイムライン

【防災タイムライン】とは  
「Yahoo! JAPAN」のスマートフォンアプリ「Yahoo!防災速報」の付随機能として令和2年度に追加された機能です。  
広島県みんなで減災推進課は、より身近で、簡単に使えるツールとして、「防災タイムライン」の活用を推進しています。  
自宅の住所・建物形状・家族構成などを登録することで、自宅周辺の災害リスク、世帯構成に合わせた「備品品」や、「避難先」を簡単に確認することができます。また、「行動確認のタイミング」をあらかじめ設定しておけば、災害の危険が高まった時に、行動を促すプッシュ通知が届きます。  
早い方なら30秒で作成できますので、スマートフォンをお持ちの方にはおすすめのツールです。「ひろしまマイ・タイムライン」が難しいと感じる方は、この【防災タイムライン】から災害への備えを進めてください。

申請書ダウンロード

防災タイムライン 作成手順

STEP1 | STEP2 | STEP3 | STEP4

## ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

## ○ 出前講座等を活用した防災教育の推進

活動名: 出前講座(防災基礎研修)

主 催: 大竹市介護支援専門員連絡協議会

実施日: 令和4年6月16日(木)

会 場: サントピア大竹

受講者: 大竹市介護支援専門員

活動名: 出前講座(防災教室)

主 催: 西栄1丁目自主防災組織

実施日: 令和4年11月27日(日)

会 場: 西栄1丁目集会所

受講者: 大竹市西栄1丁目住民





# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ 自主防災組織の育成や活動支援、連携強化

(大竹市): 1 令和4年度 新たに設立した自主防災組織×3組織

#### 2 各種研修会・訓練

- R4.5.7/21 避難の呼びかけ体制・ステップアップ訓練(元町1丁目)DIG/WS/情報伝達訓練・訓練振り返り
- R4.6.5 防災セミナー(自主防災組織育成研修会・呼びかけ体制セミナー)
- R4.11.13/20 大竹市地域防災リーダー 新規育成研修会
- R4.11.20 大竹市地域防災リーダー フォローアップ研修会
- R4.11.26 避難の呼びかけ体制・集合訓練(6組織参加により、全40組織中36組織(90%)完了)
- R5.1.14/2.4 避難の呼びかけ体制・ステップアップ訓練(白石1丁目)DIG/WS/情報伝達訓練・訓練振り返り

(岩国市): 地域防災リーダー養成研修の開催、自主防災組織への補助金制度(防災士の資格補助等)を継続実施。

(和木町): 防災リーダーの養成に係わる補助金の支給、自主防災組織への活動活性化補助金の交付を行っている。

(山口県): 自主防災組織への指導・助言を行う「自主防災アドバイザー」の養成研修を実施。

(広島県): 自主防災組織役員や防災リーダー等を対象としたセミナーや災害図上訓練等を実施するとともに、防災リーダーを対象とした研修会を実施する市町の支援を行っている。

### 【和木町】

#### 1 防災リーダー、支援員の養成

(1) 和木町自主防災アドバイザー・防災士養成支援事業補助金交付要綱

自主防災アドバイザーに関する研修に係わる費用を負担し、

地域の防災リーダー養成を支援する。

(2) 町内の養成者等

#### 2 和木町自主防災組織活性化事業

(1) 目的

自主防災組織に対して補助金の交付し、防災意識の高揚と育成強化を図る。

(2) 内容

1 地区: 3年間で10万円、防災資機材の購入、地区防災訓練の費用等

(3) 現状

1 回目(平成28年～平成30年): 130万円(使用率: 59%)

2 回目(平成31年～令和4年): 71万円(使用率: 32%)



【山口県】自主防災アドバイザー養成研修  
(R4年10月)



【広島県】

区分	登録者等	対象者
和木町防災アドバイザー	14名	町補助金の養成者
山口県自主防災アドバイザー	9名	町アドバイザー内の希望者
山口県避難体制づくり支援員	4名	希望者で研修修了者等

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくHMの作成・周知等

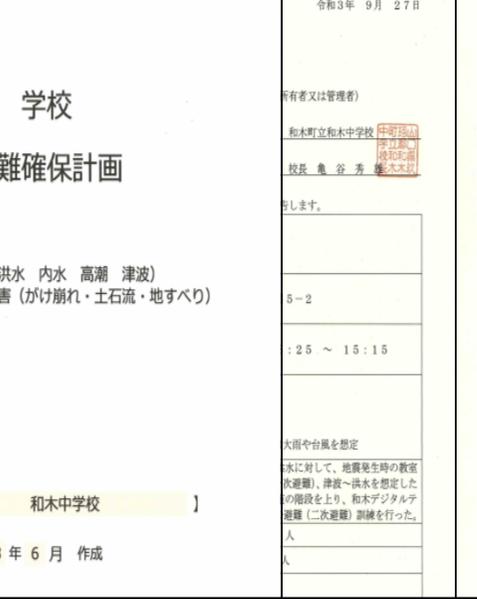
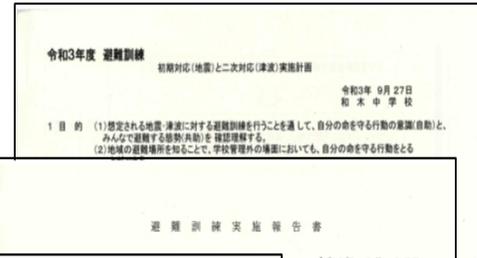
○ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成及び避難訓練の促進

避難確保計画の策定等の対応について助言・指導・支援

町は、水防法又は土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき、R03年度には和木町地域防災計画に定められた要配慮者利用の8施設の管理者等に対して、水害等のリスクを周知するとともに、避難確保計画の策定を支援し、R03年度中に全施設より計画が提出されました。

要配慮者利用施設における避難訓練

町は、R03年度において各施設の避難確保計画に基づく、避難訓練計画の策定を支援し、計画に基づき状況に応じた要領により避難訓練を実施し、年度末までに全施設より訓練実施報告が提出されました。



No	指定施設	災害区分				計画作成	避難訓練	
		土砂	津波	高潮	洪水		R3	R4
1	和木中学校	○	○	○	○	○	○	
2	和木小学校		○	○	○	○	○	
3	和木こども園		○	○	○	○	○	
4	社会福祉施設「わきっこクラブ」		○	○	○	○	○	
5	木村医院	○	○	○	○	○	○	
6	中村クリニック		○	○	○	○	○	
7	社会福祉施設「つむぎ」		○	○	○	○	○	
8	社会福祉施設「のどか」				○	○	○	

和木中学校の避難確保計画及びR3年度避難訓練

避難確保計画の作成及び避難訓練の実施状況

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ 出前講座等を活用した防災教育の推進

#### 和木小学校PTAへの防災教育



- 1 日時・場所: 令和4年6月16日(木)・小学校内
- 2 参加者: 小学校PTA役員8名
- 3 講話内容
  - (1) 防災リュックの準備
  - (2) 避難情報について
  - (3) 避難所の感染症対策
  - (4) 災害時の子どもの行動
- 4 講話状況を収録し、ケーブルテレビわきチャンネル「みんなで防災」で放映

#### 和木町議員の防災研修会(現地説明)



- 1 日時・場所: 令和4年7月14日(木)・瀬田・関ヶ浜地区
- 2 参加者: 町議員8名
- 3 現地研修内容
  - (1) 8. 6岩国和木豪雨災害による瀬田地区の教訓
  - (2) 枕崎、ルース台風被害による関ヶ浜地区の教訓
- 4 研修状況を収録し、ケーブルテレビわきチャンネル「みんなで防災」で放映

#### 和木中学校防災訓練



防災教育の状況



検討結果の発表

- 1 日時・場所: 令和4年11月22日(火)・中学校体育
- 2 参加者: 中学校生徒、職員、町防災担当職員、防災士等
- 3 訓練内容
  - (1) シェイクアウト訓練、防災講話、防災クイズ
  - (2) Gp毎の避難所設定DIG、検討結果の発表
- 4 研修状況を収録し、ケーブルテレビわきチャンネル「みんなで防災」で放映

## ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

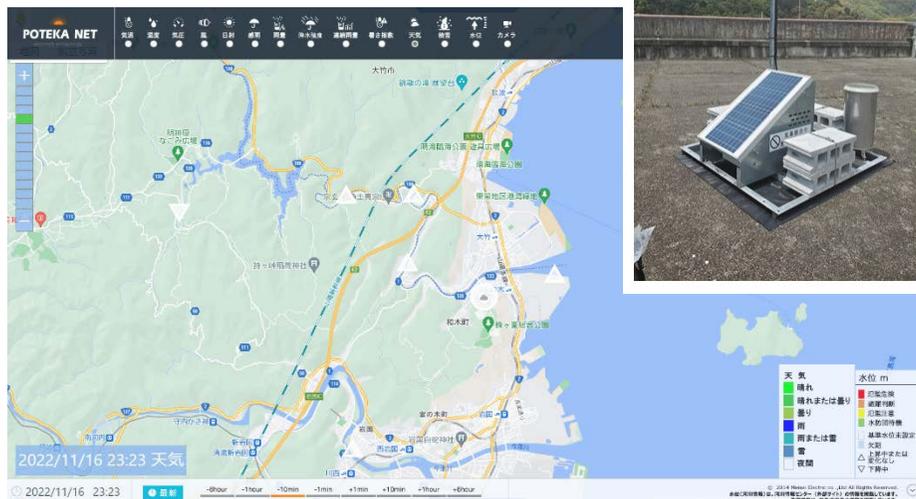
## ■ 防災教育や防災知識の普及

## ○ 住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報の提供

和木町では、気象観測装置を役場庁舎屋上に設置し、令和元年より気象情報をインターネットやスマートフォンアプリで提供しています。また、町内7カ所に設置した防災カメラの映像をケーブルテレビわきチャンネルで防災情報として配信しています。

## ○ リアルタイム気象観測装置の設置

和木町では、役場の屋上に気象観測装置 POTEKA(ポテカ)を設置しました。POTEKA(ポテカ)では、和木町の天気・気温・湿度や雨量などの気象情報を24時間リアルタイムでインターネットやスマートフォンのアプリを使い、無料で確認することができます。



▲POTEKA NET



## ○ ケーブルテレビによる防災カメラ映像の配信

気象警報発令以降、ケーブルテレビで防災カメラ(町設置・8箇所)の河川映像を切り替え放映しています。(H30. 3～)

## 災害に強い町 和木町 防災カメラを設置

## 防災カメラ (7カ所)

小瀬川や瀬田川、関ヶ浜川周辺に防災カメラを設置し、リアルタイムな河川状況や河川水位等の情報提供を行います。

※防災カメラの映像は、ケーブルテレビ和木チャンネル等で随時、放映します。

## 和木チャンネル放映時間

毎時55分～5分間

午前0時～午前7時までは、毎時25分～5分間を追加

地区名	設置場所
関ヶ浜地区	関ヶ浜河川プール先
関ヶ浜地区	宗永寺付近
関ヶ浜地区	緑ヶ丘団地屋上
瀬田地区	旭ヶ丘分岐付近
瀬田地区	瀬田浄水場内
和木地区	小瀬川遊歩道
和木地区	和木4丁目栄橋付近

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ 住民の避難行動を支援するきめこまやかな防災情報の提供

和木町では、令和2年度以降ケーブルテレビわきチャンネル(加入世帯率67%)により、防災への意識と知識の啓発を目的とした「みんなで防災」を企画・放映している。また、災害別の避難所看板の更新、福祉避難所の指定・公表を行いました。

#### ○ 率先避難・呼びかけ避難体制づくり

地域のリスクを知り、地域にあったやり方で、危険が迫る前に呼びかけあって避難する避難する体制づくりを推進しています



▲動画(YouTube)による紹介

The panels contain the following information:

- 災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指して** (Aiming for zero evacuation delays from disasters):
  - 平成30年7月豪雨の教訓 (Lessons from the July 2019 heavy rain disaster)
  - 土砂災害や洪水被害での死者の多くは、津波ハザードマップのとおり土砂災害警戒区域や浸水想定区域で発生している (Many deaths from landslides and flooding occurred in designated hazard areas).
  - 被災された多くの方は、ハザードマップから災害のリスクを認識してはなかった (Many victims did not recognize the risk from hazard maps).
  - 自治体が発する避難情報により、避難が必要と分かっていても、自分は大丈夫との認識から、同手前の方は避難行動を行っていない (Even when evacuation is needed, people stay put due to a false sense of security).
- 地域の呼びかけ避難体制** (Local call-to-evacuate system):
  - ハザードマップから、地域、自宅にこのような災害リスクがあるのかを確認する (Check for risks on hazard maps).
  - 地域において呼びかけ避難ができる体制を構築することが必要 (Build a system for call-to-evacuate).
  - 「自分は大丈夫」と思い込む人は、知り合いからの避難の呼びかけや避難している人を見ると、避難行動を起こしやすい (People who think they are safe are more likely to evacuate when called).
  - 土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の災害リスクの再認識 (Re-recognize risks in hazard areas).
  - 自主防災組織による呼びかけ避難体制の構築 (Build systems using volunteer fire organizations).
  - 情報伝達訓練、避難訓練による避難体制の実効性の向上 (Improve effectiveness through training).
- 「高齢者等避難」発令** (Issuance of evacuation orders for the elderly, etc.):
  - 高齢者や障害のある人は避難しなければならないという認識が不足し、避難することへの不安により、多くの人が避難行動を起こしていない (Adequate awareness and confidence are lacking).
  - 地域で避難を呼びかける体制づくりを検討する (Consider building systems to call for evacuation).
- 地域の呼びかけ避難体制** (Local call-to-evacuate system):
  - 自治会内の地区を区分した所を基にして、電話による「地区緊急連絡網」の作成を検討 (Consider creating emergency networks by district).
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).
- 地域の呼びかけ避難体制** (Local call-to-evacuate system):
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).
  - 町内全域に「自治会緊急連絡網」発令 (Emergency network activation across the town).

率先避難・呼びかけ避難体制づくりの広報  
(ケーブルテレビわきチャンネルで放映)

#### ○ 避難所看板の更新

避難所看板を避難指示等の一本化と警戒レベルの設定を含めて更新



#### ○ 福祉避難所(1カ所)の指定・公表



わきあいあい苑 (社会福祉法人 和木三志会)

## ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

## ■避難行動、水防活動等に資する基盤等の整備

## ○防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設となり得る民間施設等の提携、連携

蜂ヶ峯公園にぎわい広場交流棟(2021年4月運営)を「和木町事業継続計画」に代替え施設第1候補として指定

## 和木町業務継続計画



平成29年6月14日 制定  
平成30年6月14日 改訂  
令和4年7月15日 改訂

和木町



## 蜂ヶ峯公園Bee+交流棟

- 1 平屋、耐震構造、面積:約400m<sup>2</sup>
- 2 防災設備
  - (1)貯水槽(断水時に取水可能)
  - (2)LPガスタンク
  - (3)外部電源供ソケット(非常用発電機接続可能)
  - (4)トイレ用マンホール(3カ所)
- 3 周辺地域  
蜂ヶ峯防災広場、場外ヘリポートに隣接

## ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動

### ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

#### ○リアリティのある水防訓練の実施

水防団としての訓練は未実施

町民向け水防活動の参考として、ケーブルテレビわきチャンネル「みんなで防災」において、土嚢作成、土嚢積みによる水防工法とその止水効果について放映した。

#### 土嚢作成



#### 土嚢積み及び止水効果の検証

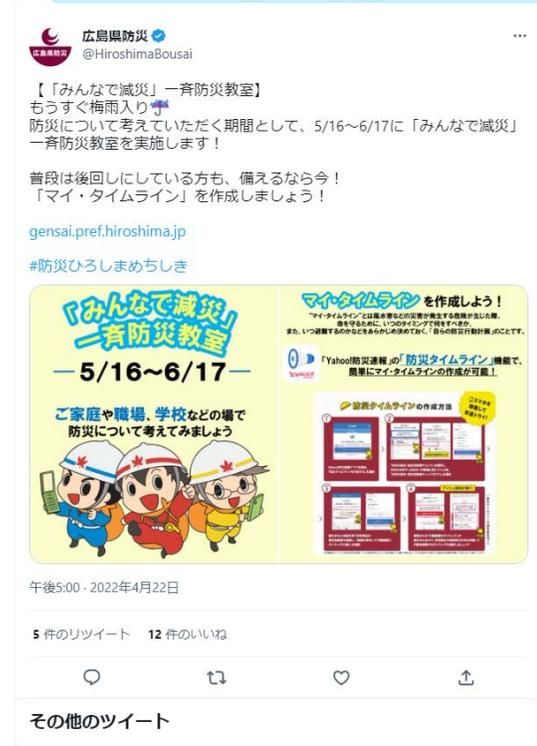


① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成

○ マイタイムライン等の作成促進

SNSによる広報、出前講座による紹介及び作成補助を実施。



マイ・タイムライン小学校出前講座



市町	実施実校数	延べ受講人数
廿日市市	9校	570名
大竹市	1校	99名
全県(参考)	149校	11,261名



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成

○ マイタイムライン等の作成促進

自宅周辺の災害リスクや避難のタイミング、避難場所などを記入する「避難カード」を全ての小中学生に配布。

大丈夫？ 自分の家は？ おじいちゃん、おばあちゃんの家は？

## わたし（山口〇〇）の避難カード

記入例

《自宅の災害リスクと避難のタイミング》

ハザードマップを見て、どんな災害が起こるか考えよう！

災害時にはテレビなどでチェック！

災害の種類	どのような危険があるか (災害リスク)	いつ逃げるか (避難の合図・タイミング)	どこに逃げるか (避難場所)
土砂災害	土砂災害特別警戒区域の中 (すごく危ないところ)	警戒レベル3が出たらすぐに	〇〇小学校体育館
川の氾濫	〇〇川が氾濫したら、浸水50cm以下 (家の中で避難すれば大丈夫)	〇〇観測所の水位が、氾濫危険水位に達したら	家の2階

《家族や頼りになる人の緊急連絡先》

名前	連絡先
お父さん	090-●●●●-9999
お母さん	080-●●●●-9999
自治会長	083-●●●●-9999

《持ち出すもの(避難所で手に入らないもの)》

防災リュック  防災ガイドブックで詳しく調べてみよう

携帯充電器

懐中電灯

《避難を呼びかける人とタイミング》

声をかける人 (一緒に逃げる人)	いつ声をかけるか (声をかけるタイミング)	連絡先	気をつけること (持ち物など)
隣の田中さん	警戒レベル3がでたらすぐ	直接呼びに行く	薬をもって避難する

近くにいるおじいちゃんやお隣さんと声をかけあって避難しよう！

《家の周りの地図》

## ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

## ○ 出前講座等を活用した防災教育の推進

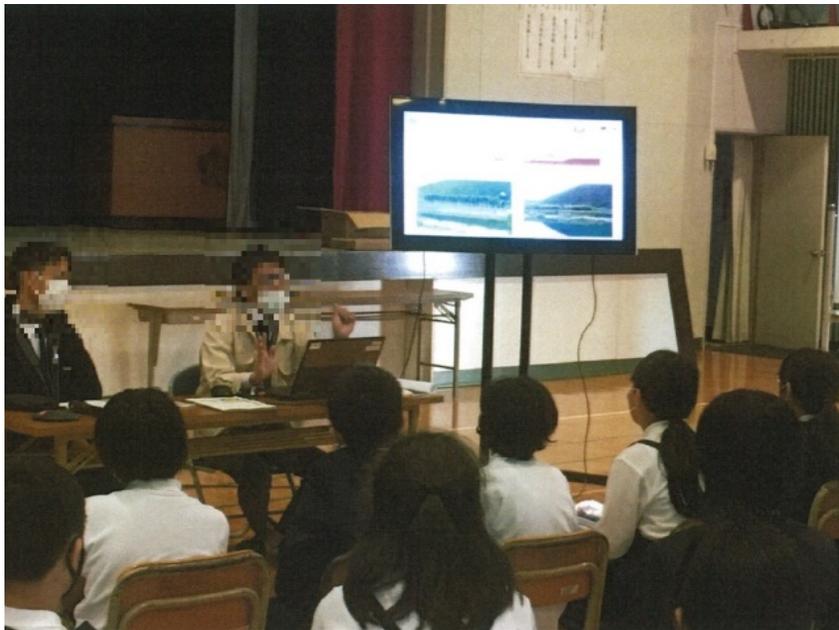
活動名: 出前授業

実施日: R4.11.18(金)

会場: 岩国市内の小学校

受講者: 5年生

内容: 県内の洪水被害の状況や対策  
生態系・景観に配慮した川づくり



### ③浸水を一日も早く解消するための排水対策

#### ■排水計画の作成及び排水訓練の実施

#### ○樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保

- ・山口県では、小瀬川水系瀬田川(指定区間)において樋門1基を整備し、和木町と管理及び操作委託契約を締結している。
- ・樋門の操作を行った際は、その操作記録を保存することとしているとともに、定期点検を、出水期(5~10月)は毎月、非出水期(11月~4月)は3月に1度実施することとして、確実な運用体制の確保に努めている。

#### 樋門の定期点検実施状況

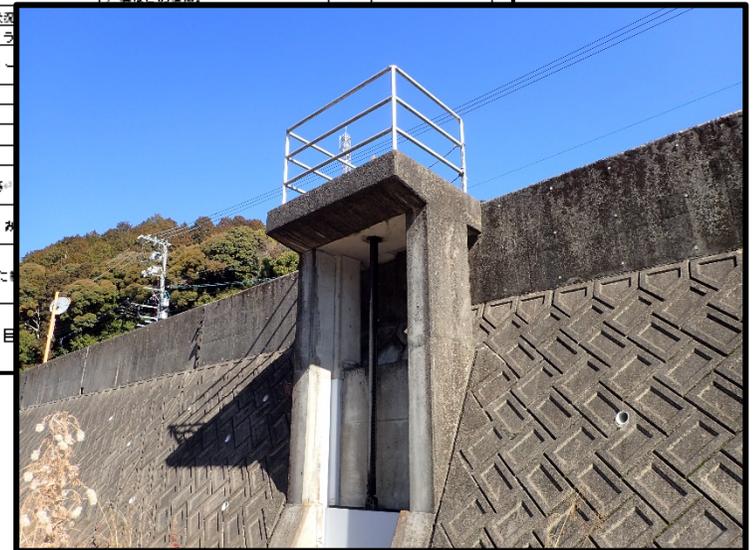


様式別 2-4 点検表(手動) 〇〇年〇〇月〇〇日 点検

水門・樋門の名称: \_\_\_\_\_

名称 <sup>1)</sup>	項目 <sup>2)</sup>	良否の判定方法及び基準 <sup>3)</sup>	判定(良であれば○を示す) <sup>4)</sup>	
			良 <sup>5)</sup>	不良の場合の内容 <sup>6)</sup>
本体 <sup>1)</sup>	本体の構造 <sup>2)</sup>	目視で割傷や亀裂がなければよい。 <sup>3)</sup>	○	
	各部の歪形、腐蝕、変位の状況 <sup>2)</sup>	目視で構造がなければよい。 <sup>3)</sup>	○	
扉体・戸当 <sup>1)</sup>	水密部の老化、損傷、変形、摩耗、滲水 <sup>2)</sup>	目視で構造がなく、滲水がなければよい。 <sup>3)</sup>	○	
	ガイドローラーの回転状況 <sup>2)</sup>	目視で構造、摩耗がなく、扉体を閉鎖するときにローラーが回転すればよい。 <sup>3)</sup>	○	
	各部の清掃 <sup>2)</sup>	戸当などの清掃。 <sup>3)</sup>	○	
開閉装置(操作機) <sup>1)</sup>	ゲートの開閉状況 <sup>2)</sup>			
	駆動油圧はグリース <sup>2)</sup>			
	内外部の清掃 <sup>2)</sup>			
付属施設 <sup>1)</sup>	管理室 <sup>2)</sup>			
	階段 <sup>2)</sup>			
	量水標 <sup>2)</sup>			
記事 <sup>1)</sup>	設備更新の履歴 <sup>2)</sup>			
	付近上下流のこみ <sup>2)</sup>			

(注) 該当しない項目



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 防災気象情報の改善

・「防災気象情報の伝え方に関する検討会」の提言を受けた防災気象情報の改善及び提供

令和4年度は以下の事項について実施

- ・ 線状降水帯予測情報提供開始
- ・ キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ・ 大雨特別警報（浸水害）の指標の改善
- ・ 洪水に関する危険度情報の一体的発信

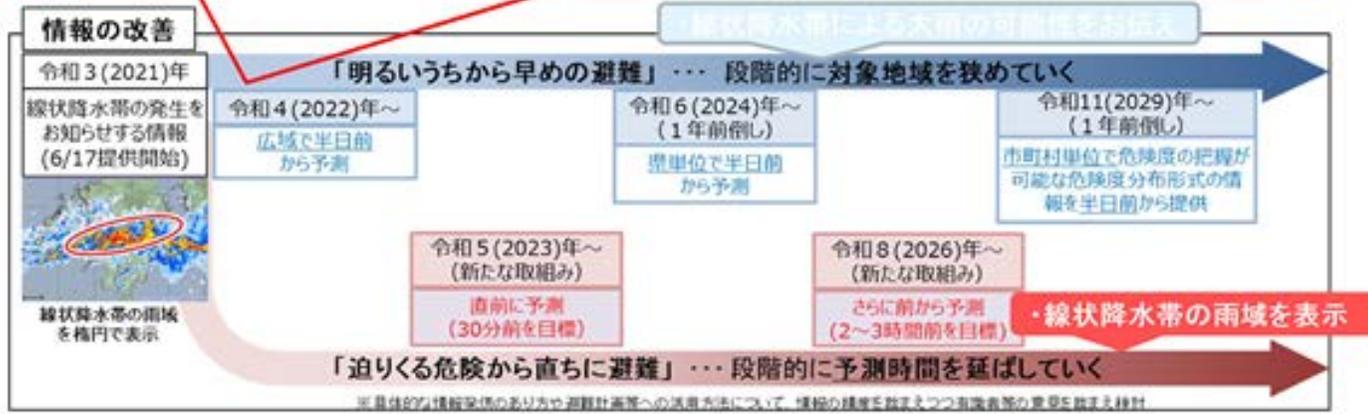
① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組  
 ■ 防災教育や防災知識の普及

○ 防災気象情報の改善

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日程度前からお伝えします



令和4年  
6月1日～

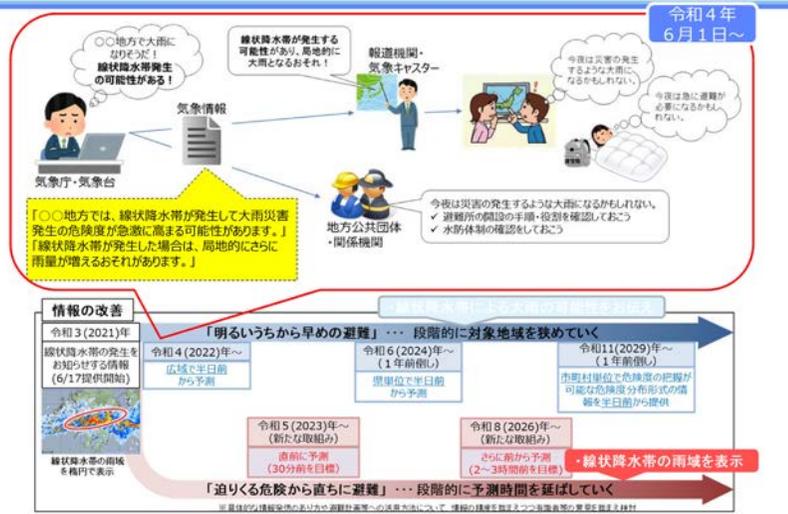


# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ 防災気象情報の改善

「線状降水帯」による大雨の可能性を半日程度前からお伝えします

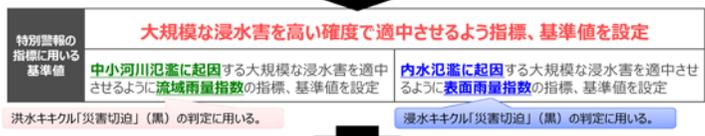


大雨特別警報(浸水害)の指標の改善

令和4年6月30日～

<改善のポイント> 警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い「指数」を用いて大雨特別警報(浸水害)の新たな基準値を設定。

<改善前の課題>  
大雨特別警報(浸水害)を発表したが多大な被害までは生じなかった事例が多みられる(例:平成26年8月の三重県の大雨事例、平成26年9月の北海道の大雨事例、平成29年7月の島根県の大雨事例)。  
また、多大な被害が発生したにも関わらず、大雨特別警報(浸水害)の発表に至らなかった事例もみられる。



- ✓ 大雨特別警報(浸水害)の対象地域を大幅に絞り込んだ発表が見込まれる。
- ✓ 島しょ部など狭い地域への発表も可能となる。
- ✓ 警戒レベル5相当の情報としての信頼度を高め、住民や自治体等の防災対応を強力に支援。

(参考)改善前の大雨特別警報(浸水害)の発表条件

以下の①又は②を満たす予想され、かつ、さらに雨が降り続く予想される地域の中で、洪水キキル又は浸水キキルで5段階のうち最大の危険度が出現している市町村等に発表。

- ① 長時間指標 48時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、とびに50格子以上さままて出現。
- ② 短時間指標 3時間降水量及び土壌雨量指数において、50年に一度の値以上となった5km 格子が、とびに10格子以上さままて出現。

キキル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年6月30日～

警戒レベル4に相当するキキル(危険度分布)は紫です



質問1) キキル「黒」が発表されたら災害は発生しない?  
⇒そうではありません。「黒」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にも出現するとは限りません。このため、「黒」を待たずに「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

質問2) 市町村から発表される避難指示とどう違う?  
⇒市町村から避難指示が発令される際は速やかに避難行動をとっていただき、一方で、多くの場合、防災気象情報(自治体が発令する避難指示等)が先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出た際は、避難指示が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

洪水に関する危険度情報の一体的発信



① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 多様な防災行動を含むタイムラインの作成

○ マイタイムライン等の作成促進

地域の洪水リスク把握に役立つ地図、利用方法のSNS、Webによる広報の実施。

国土地理院公式ツイッターでのハザードマップポータルサイトの紹介



大雨が降った。避難情報が出た。  
——そのとき、あなたはどうか避難しますか？

日頃からハザードマップを確認し、身のまわりに潜んだ危険を知っておきましょう。

《国土地理院HP ハザードマップポータルサイト》  
スマートフォンからも見られます。↓  
[disaportal.gsi.go.jp/index.html](https://disaportal.gsi.go.jp/index.html)  
#線状降水帯 #豪雨



国土地理院ホームページによる自然災害伝承碑の活用事例紹介例

● 鳥取県立鳥取西高等学校における活用

千代川で起きた過去の災害は？  
③自然災害伝承碑を探そう  
探し方：[地理院地図](#)  
鳥取市内からこのマークを探せ！

③自然災害伝承碑を探そう 探し方！

なぜ、伝承碑がここにあるのか？

鳥取平野の災害危険性  
⑤どんな災害が予想されているか？  
調べ方：[重ねるハザードマップ](#)

鳥取西高等学校の「地理歴史(地理B)」の授業の中で地理院地図に掲載されている自然災害伝承碑などを活用。

この授業の狙いは、「なぜ、そこに自然災害伝承碑があるのか」を調べること  
で、地域の地形の特徴、土地利用の変化、過去・近年に発生した自然災害を知り、ハザードマップを使用した災害予測等を学び、住民ひとりひとりの防災行動計画といった「マイ・タイムライン」の作成を通して生徒の防災意識を高めることとされている。

① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

■ 洪水を安全に流すためのハード対策の促進

○ 堤防整備(浸透対策、パイピング対策、流下能力対策)

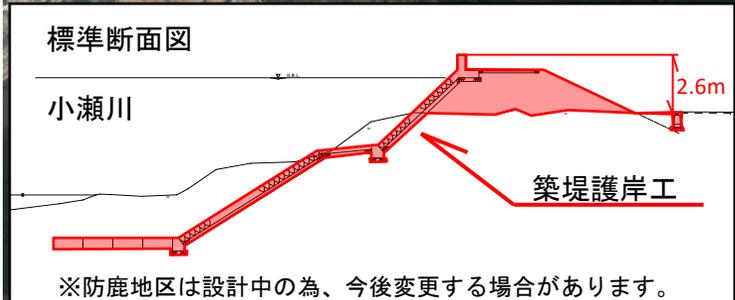
- ・小瀬川(防鹿・小川津地区)において洪水対策のための築堤工事等を実施しています。
- ・工事が完成することで両地区において、洪水氾濫による家屋等の浸水被害を軽減します。



防鹿(ぼうろく)地区  
堤防整備L=約300m  
工事準備中

小川津(おがわづ)地区  
堤防整備L=約280m  
令和4年4月着手(現在工事中)

小川津地区 工事進捗状況  
工事着手済 : 250m/280m 【90%】  
工事完成 : 30m/280m 【10%】



事業進捗率  
(防鹿・小川津地区合計)

設計	90%
用地買収	約39%
工事	約10%

## ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

## ○ 高潮整備

- ・小瀬川河口部において高潮対策工事を実施します。
- ・工事が完成することで高潮被害に対する安全性が向上し、浸水被害を軽減します。





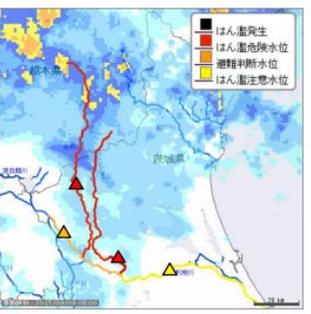
# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ 水害リスクラインを活用した水位予測及び洪水予報等の情報発信

小瀬川水系を対象に上流から下流まで連続的に、地先毎の洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」より、災害の切迫感を分かり易く伝える取組を推進している。また、洪水予報等については、関係機関への発信等行っている。

現在の洪水予報・危険度の表示  
水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示

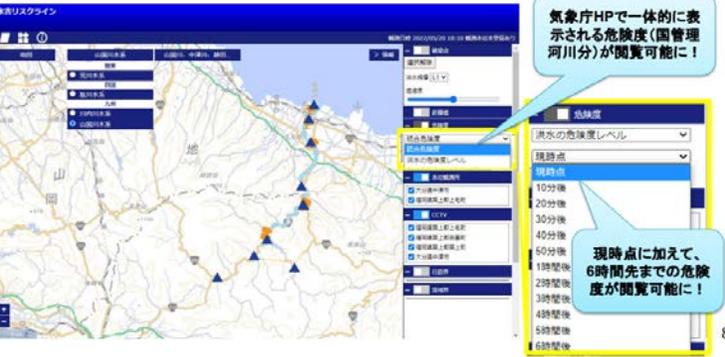


水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示  
左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



令和5年2月より

- 気象庁HPでの統合表示に合わせて、国管理河川の危険度分布（水害リスクライン）HPにおいても、同様の危険度分布を表示。
- さらに、現況の危険度に加え、6時間先までの危険度も閲覧可能となる。



川の防災情報において洪水予報情報を提供



「水害リスクライン」  
URL : <https://frrl.river.go.jp/>



# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組

## ■ 防災教育や防災知識の普及

### ○ マスメディアと連携した情報発信

各メディアと連携し、防災知識の普及に向けた情報発信を実施。

#### 広島かわ知り



Point① 「上流部の氾濫」に注意！

NHK

命を守るポイント

- ① 上流部の氾濫
- ② 下流部の2つの観測所
- ③ 弥栄ダムの水位

廿日市市の上流部は水の流れが速く、大きく蛇行する地域があります。



平成17年9月の台風14号による廿日市市内の氾濫

出典：NHK ひろしまWEB特集

<https://www.nhk.or.jp/hiroshima/lreport/article/000/89/>

#### こうじ君のなぜなぜ豆辞典

この川のなぜなぜ豆辞典 3

CCTV巡回型 河川監視カメラ

高画質な動画をリアルタイムで送り出す

太田川河川事務所 調査設計課 田中真由さん

カメラの映像・水位の情報などは一般の方でもスマホやパソコンで見ることができます

出典：RCC こうじ君のなぜなぜ豆辞典

<https://iraw.rcc.jp/play/videos/605874>

②氾濫特性に応じた効果的な水防活動  
■水防活動の効率化及び水防体制の強化

○リアリティのある水防訓練の実施

- ・出水期に備え、洪水予報(太田川河川事務所、地方气象台共同発表)発表にあたる訓練を実施した。
- ・洪水時に使用する洪水予警報作成システムを実際に操作し、操作方法の習熟や発表までの流れ等を確認した。

1回目 令和5年4月28日(金) 参加機関: 広島地方气象台、太田川河川事務所  
2回目 令和5年5月8日(月) 参加機関: 下関地方气象台、太田川河川事務所

1回目

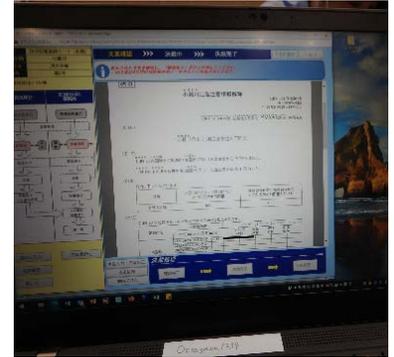
広島地方气象台の様子



・洪水予警報作成システムで作成した文案を確認

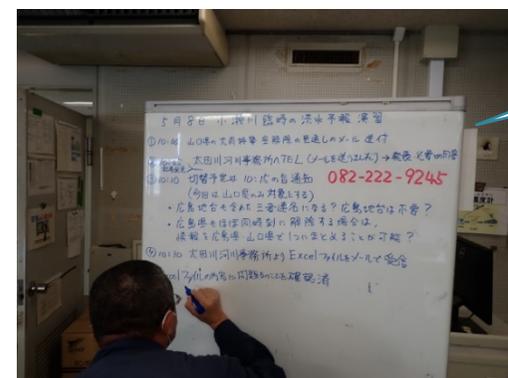


太田川河川事務所の様子

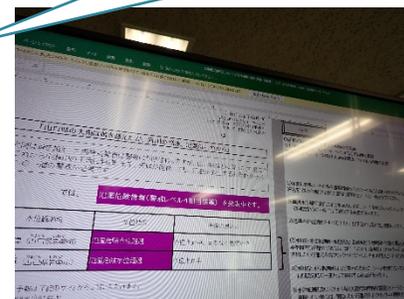


2回目

下関地方气象台の様子



・ホワイトボードに対応履歴を記録  
・洪水予報文の作成



太田川河川事務所の様子



・洪水予警報作成システム操作方法を確認



## ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動 ■水防活動の効率化及び水防体制の強化

大竹市、岩国市、和木町、  
広島県、山口県、中国地整

### ○備蓄水防資機材情報の共有および非常時における相互支援方法の確認

- ・大竹市  
出水期前に、備蓄している資器材の非常時使用等支援方法の確認をしている。
- ・岩国市  
毎年、自主防災組織活動の一環として備蓄倉庫の点検等実施。また、土のう作成用の土を市で一括購入し、各消防団の方面隊に配分して土のうの備蓄を推進。
- ・和木町  
町の備蓄(装備)品として、水防資機材となる一般的な土工具、土嚢袋、照明装置、救助セット、救助用ボート等について各消防団倉庫、町役場、公民館等の4か所の倉庫に分置し、定期的に点検している。また、町の水害対応能力強化のためゴムボート1艇(寄贈品)を追加装備した。  
自主防災組織の防災資機材購入の支援を継続するとともに、保有品の把握と情報共有を実施した。
- ・広島県  
備蓄水防資機材情報については、水防連絡会において情報共有。  
非常時における相互支援方法については、「中国地方における災害時の支援に関する申し合わせ」により実施
- ・山口県  
各土木建築事務所等に水防用器具及び資材を備蓄しており、水防管理団体及び水防協力団体の備蓄資器材で不足するような緊急事態に際しては、資器材の提供を行っている。
- ・太田川河川事務所  
水防連絡会にて情報を共有している。
- ・弥栄ダム管理所  
水防連絡会及び3ダム1堰連絡調整会議にて情報を共有している。



小瀬川水防連絡会

## ③浸水を一日も早く解消するための排水対策

## ■排水計画の作成及び排水訓練の実施

## ○樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保

- ・防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に関する取り組みの一つとして、老朽化した小規模な樋門等の無動力化を実施中であり、令和3年度に小瀬川水系で1施設の無動力化を完了。
- ・新たに樋門操作員になられた方々に、出水期前までに現地で施設操作を行う説明会を実施し、出水時の操作が確実にできるような体制の確保を行っている。また、維持業者と災害協定業者を対象に排水ポンプ車の操作訓練を出水期前に実施している。

## 無動力化(フラップゲート施工)の事例

防鹿排水樋門

着手前



H25.7月撮影



完了後



R4.3月撮影

## 操作説明会の実施状況



## 排水ポンプ車操作訓練の実施状況

